

もちろん私は素人ですので、勝手なことをつづりたいと思います。

読んでいただければ幸いです。

乱文ご容赦ください。

基本的な考え方

1. NTTの独占状態を無くし、自由競争を奨励

このままでは、外国特に気合いを入れた今まで発展途上国と言っていた国に負けてしまう。

少なくとも、通信費が高いがために国内の会社であるにも関わらずインターネットホームページの.comの多いこと。

2. 国は万人向けの事業を興してその建設したものに対して儲けることを考える。

入札は時限とし、入札ごとに住民サービスをチェックし適当なサービス、努力がおこなわれているかをチェックする。

ネットワーク構造、電気通信事業の将来像

NTTではなく自由競争出来、消費者が自由に選択できる

(単に選択肢があるというのでは無く、どれも良くて迷うことの出来る)

競争状態

競争の基本的枠組み

光ケーブル等新しい国の政策として創造するインフラは、自由競争による入札制

ただし、海外の企業に占有されるのは困ることもあるので何分割かした入札方法を採用、中小企業やベンチャー企業枠を設ける。

国が稼ぐことを考え、財政赤字を少なくする(無くす)一助とする。

NTTグループの位置付けと公正競争の確保

まず、私はNTTが嫌いです。以下が理由です。

1. 携帯電話を含めて高額であること

特に携帯電話からかけた電話料金がとんでもなく高いこと

DOCOMOでない携帯の沖縄 - 北海道と他を比べてもおかしい。

2. 独占企業であるが故に企業努力をしていないこと

携帯電話は通信能力が低かったにもかかわらず、今となっては機械は無料の

ところもあるしインターネット

も制限付きながら可能、着メロダウンロードサービス、着キャラダウンロードサービス等有線電話の方が

可能性が高かったにもかかわらず携帯電話しかできないこと。

3. 他社のDSL対応に消極的である上に自己努力をせずDSL工事を推進しな

いこと。

4 . アメリカのインターネット環境より高いこと

5 . フレッツISDNを募集しているにも関わらず、応募が多く対応できないと回答が届きしかも将来いつまでに対応するといった客への対応すらしらないこと。

以下ご提案です。

NTTをいじめるのではなく他の業者を強くするような政策

例) NTTのインフラである電話線の再度の時限(5年毎に実施)競争入札

(本来これは国の資産のはずであり国としての権利でもあるはず)

CATVの電話事業参入の自由化、仕組み上の応援

同じく有線放送の通信事業参入自由化、仕組み上の応援

電柱使用の自由化と将来的な廃止。

地下回線を国の援助の基建設と入札あるいは、自治体による運営

(ここでも稼いで欲しい)

現在の電話線は既得権益となってしまうかもしれないが、これからの個人宛の光ケーブルや埋設ケーブルは帰ることが出来るはず。

ユニバーサルサービスの確保

地域単位(地方を含めた)での100%のサービスを規定し、確保できない場合は営業を入札する。

(上記入札制が前提ですが)

あるいは、法制化し罰則規定を設ける。

1票の重さの様な。

通信主権等の確保

アメリカ、フランス並みが妥当と思われます。

カナダは隣国がアメリカなので条件が異なると思います。

電気通信事業における研究開発体制の在り方

金になれば誰でもやるはず。

長期的なものは国として援助、特許化し外国での使用を制限し特許料収入を得る。

外国での技術的優位性を保ち、シェアを確保する。

NTTの民営化前後の技術(特許)は、日本国内の会社に特許料を安く設定し売る。

当然国のものであるはずなので特許料は国に。

開発者には、事業規模に応じてボーナスを支給する。

(ことにより開発を促す、裁定は第三者機関に)

今後の開発技術についても考慮が必要。(基礎技術は国有の時に貯めたもの)

徐々に自立させることが必要と思われます。

利用者利益の確保方策

独占を排除することが先と考えます。

地方によって分社化するより、競争が生まれるようにすべきです。

もう一度書きます。

- 例) NTTのインフラである電話線の再度の時限(5年毎に実施)競争入札
(本来これは国の資産のはずであり国としての権利でもあるはず)
CATVの電話事業参入の自由化、仕組み上の応援
同じく有線放送の通信事業参入自由化、仕組み上の応援
電柱使用の自由化と将来的な廃止。
地下回線を国の援助の基に建設、入札あるいは自治体による運営
(ここでも稼いで欲しい)

提出者

氏名 大城 昭郎